

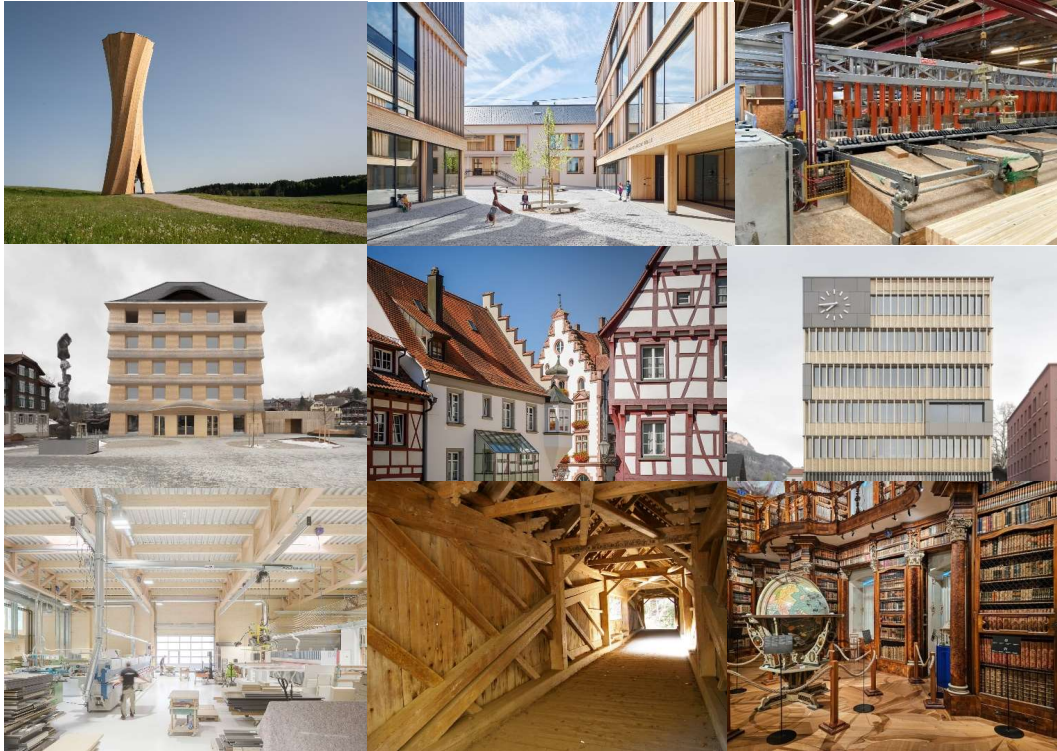
【欧州視察ツアー】 脱炭素・ESG時代の建築と地域を考える ドイツ・オーストリア・スイスに学ぶ、多様な木質材料の活用と 持続可能なまちづくり

法政大学 網野禎昭教授が全行程同行！

国内初の「DLT書籍」出版を記念した、特別な欧州視察ツアーが実現。

2026年9月14日（月）～20日（日）

訪問予定先の一例画像



現在、脱炭素やESG経営の観点から建築物の木造・木質化が急加速しています。国内での木材活用政策は、CLT（Cross Laminated Timber）に留まらない「多様な木質材料の活用」へと舵が切られました。

そこで注目されているのが、欧州発祥の「DLT（Dowel Laminated Timber）」をはじめとする、ローテク・イノベーションによる木質材料です。本ツアーでは、多様な木材活用の最前線であるドイツ・オーストリア・スイスを訪問。大規模化に頼らず、クラフトマンシップと独自技術（ローテク・イノベーション）で持続可能な多品種少量生産を実現しているボーデン湖周辺の「木造先進地域」を巡ります。

少子高齢化でダウンサイジングを迫られる日本の地域再生、そして今後の木材活用の未来を拓くヒントを探ります。

豪華同行講師のご紹介： 網野 禎昭 氏（法政大学教授）

欧州での経験が長く、昨年末に日本初となるDLTの解説書籍を共同で執筆。本ツアー全行程に同行し、書籍で触れた欧州の木材産業事情や建築の背景を、現地ですぐに分かりやすく解説していただきます。ウィーン工科大学教員を経て、2010年から法政大学デザイン工学部教授。専門は建築構法、木造建築設計。



DLT 新しい木質材料が語る「持続可能な社会」のあり方 1980円（税込）

本ツアー3つの核心テーマ：

①ローテク・イノベーションで拓く木材産業

DLTをはじめ、シンプルな技術で地域の木材活用を牽引するイノベティブな小規模企業や最新の建築現場を視察。

②ローカル・サステナビリティ政策とまちづくり

オーストリア・フォアアールベルク州の小規模自治体を訪ね、地域資源を活かしたコンパクトな循環型社会の実践を学びます。

③地域の木造建築賞の最新受賞作を巡る

デザインと機能美を両立し、地産地消を体現する木造建築賞受賞作を訪問。木造建築の最前線に触れます。

日本の建築・木材産業の「次の一手」を、第一人者の解説とともに現地で体感しませんか？
皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

企画：法政大学デザイン工学部網野禎昭教授、株式会社日本テクノロジー研究所、株式会社長谷川萬治商店
後援：一般社団法人日本ウッドデザイン協会、A-WASS（木と建築で創造する共生社会実践研究会）
旅行取扱：西鉄旅行株式会社
お問合せ：株式会社長谷川萬治商店 技術開発室 TEL:03-5809-8577 担当：鈴木康史
E-mail：yasufumi.suzuki@haseman.co.jp

本視察の趣意

法政大学デザイン工学部 網野禎昭

ヨーロッパの中でもライン川の東西に広がる地域は、様々な高付加価値産業が立地する豊かな地域として知られています。今回、皆様と視察するボーデン湖周辺は、この高度な産業地域にあって地場産木材の活用に取り組む木造先進地域でもあります。先進地域とは言っても、大規模な工場やビルが立ち並ぶということではありません。伝統的なクラフトマンシップが息づくこれらの地域では、小規模な企業がDLTを始めとする独自性の高い多品種少量生産に取り組み、中山間部の自治体では地域資源を活かしたコンパクトで持続可能なまちづくりを実現しています。脱大量生産時代のモデルと言っても過言ではありません。

本ツアーは次の**3つのテーマ**に沿って進行します。

少子高齢化に伴い、ダウンサイジングが余儀なくされる日本の未来を考える上でのヒントになる見学先を選びました。

①『ローテク・イノベーションで拓く木材産業』 シンプルな技術を駆使し、地域の木材活用を牽引するイノベティブな小規模企業や建築現場を訪ねます。

②『地域の木造建築賞の最新受賞作を巡る』 フォアアールベルク州の木造建築賞受賞作を訪ね、地産地消の木造建築の在り方を学びます。

③『ローカル・サステナビリティ政策と中山間地域のまちづくり』 小規模自治体を訪ね、オーストリア西部フォアアールベルク州での循環型社会構築の実践について学びます。

宿泊地にもこだわり、歴史的な街並みが美しい町々に宿泊する予定です。一日の見学を終え、晩夏のテラスで寛ぎながら、私たち日本の木材活用と地域の在り方について楽しく語らうことができればと思っております。最終日には、貴重な建築遺産の見学も組み込んでおります。皆様のご参加をお待ちしております。

旅程（案） 募集人員 15名（最小催行人員 10名） 参加費用お1人様820,000円（2名1室利用の場合）

9月14日 月 0日目	成田空港発 チューリッヒ空港 スイスエア
9月15日 火 1日目	テーマ：ローテク・イノベーションで拓く木材産業 ① ハーフティンバーが美しいPfullendorfにて休憩 ② Munderkingenにて昼食Gaststätte Rössle ③ DLTメーカーKaufmann社による建設現場の見学 ④ Kaufmann社訪問見学 中世の街並みが残るMemmingenで宿泊
9月16日 水 2日目	テーマ：地域の木造建築賞の最新受賞作を巡る ① シュツットガルト大学による木造タワーWangen Turmで休憩（Holzbaupreis Baden-Württemberg 2026） ② 木造小学校Volksschule Hittisau（Vorarlberger Holzbaupreis 2025） ③ Eggにて昼食Sarah kocht in Posthaus（best architects 26 Award） ④ 地域歴史博物館Museum Bezau（Vorarlberger Holzbaupreis 2025） ⑤ 家具メーカーRüscher Gesellschaft mbH Tischlerei（Vorarlberger Holzbaupreis 2025, Best Workspaces 2026 awards） コンスタンツ湖畔の街Bregenzで宿泊
9月17日 木 3日目	テーマ：ローカル・サステナビリティ政策と中山間地域のまちづくり ① フォアアールベルクエネルギー研究所（Energieinstitut Vorarlberg）訪問、レクチャー ② ホヘネムス庁舎Rathaus Hohenems ③ 昼食Cafe Restaurant am Dorfplatz Ludesch（ルーデッシュ役場内） ④ ルーデッシュ役場Gemeindeamt Ludesch ⑤ ザンクト・ゲロール役場Gemeindeamt St.Gerold ⑥ プロンス役場Gemeindeamt Blons コンスタンツ湖畔の街Bregenzに滞在
9月18日 金 4日目	ボーナス・トラック ① 木造エレメントメーカー スイスLignatur社訪問 ② スイス伝統木造の最高峰H.U.グルーベンマンの遺構Kubelbrücke見学 ③ グルーベンマン博物館見学 Grubemann Museum ④ 世界文化遺産 Abbey Library of Saint Gall（世界最古の稼働図書館） チューリッヒに宿泊
9月19日 土 5日目	チューリッヒ空港発ウィーン経由 オーストリア航空
9月20日 日 6日目	成田空港着